

の 広報 さざぎ

昭和61年
9月(第129号)



アジア大会日本代表選手を迎えて、 サイクリングロードレース大会

- ◇ サンサン 燦々と輝く太陽の下で、8月22日 ◇
◇ 西海学園高校のアジア大会日本代 ◇
◇ 表選手7名を迎えて、大会が展開 ◇
◇ された。汗にまみれ一心にペダル ◇
◇ を踏む選手たち、来賓、父兄の声 ◇
◇ 援をうけゴール、日焼けした顔の ◇
◇ 中から完走した喜びの白い歯がと ◇
◇ ても印象的でした。 ◇

町の総人口

【7月末日現在】

総人口 12,262人

男 5,840人

女 6,422人

世帯数 3,667世帯

第二十三回夏まつり 打上げ花火とともに閉会

恒例の夏まつりが、佐々町観光協会の主催により、八月十五日、十六日の二日間、羽須和第二公園で約四千五百人の人出で盛大に行なわれました。

今年の夏まつりは、一日目の十五日は、若者を主体とした腕ずもう大会、ビール・ジュース早のみ競争、佐々町何でもクイズ、など若さあふれる催しものでにぎわった。

二日目の十六日は、地域婦人部、農協商工婦人部のみなさんによりまた一味ちがった踊りが披露され、商工会青年



部のみなさんのたたく樽の太鼓の音もはびこりました。最後の夜をかざって、花火が打上げられ六十一年の夏まつりの幕がおろされました。

大会協賛のお礼

第二十三回夏まつりの開催にあたり、多数の方々のご協力と、ご寄付など多大のご協賛を得ましたことを、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

佐々町観光協会

会長 藤島 繁人
佐々町長 菊本 春夫

町制施行45周年記念及びサイクリングロード一部完成記念

サイクリングロードレース大会開催

町制施行四十五周年及びサイクリングロード一部完成を記念して、八月二十二日午前十時から、サイクリングロード一・二キロを使って大会が開かれました。

大会に先だち、町長のあいさつのもと、西海学園高校自転車部の小森先生により「自転車の正しい乗り方について」講習を受け、参加選手三十五名がスタートしました。

選手は小学校二年生から高校生までで、高校生の中にはアジア大会で自転車競技日本代表になった西海学園高校の豊岡選手他六名も参加し、タイム申告レース、スピードレースの二種目で競われ、小学校低学年、中学年、高学年、



中学生、高校生に分かれ、それぞれ一位から五位までトロフィーが授与され、参加者全員にも参加賞として記念の盾が贈られました。

汗にまみれ
歯をくいしばり

タイム申告レースに出場した小学校六年の浜田君は申告したタイムが四分三十五秒、完走した時のタイムが四分三十五秒で時間差ゼロの記録を出しました。

参加した選手は炎天の下、汗にまみれ、歯をくいしばり、ゴールに向かって走っていく子供達の姿、私たちは大切に育ててゆきたいものです。

ふるさとの 自然を訪ねて

佐々町国民健康保険及び佐々町健康づくり推進協議会では、健康づくり事業の一環としてハイキング(葉草採取と自然の散策)を、七月二十七日(日)に実施しました。

今回は四月にオープンした学童農園までの一時間位の行程でありましたが、猛暑の中多数の参加があり、回を重ねる毎に健康づくりの輪が広がっているようです。

現地では、講師山下先生の葉草についての講義をうけ、みどりの会の協力による葉草のテンプラ、豚汁の試食等を行ない大変楽しい一日でした。

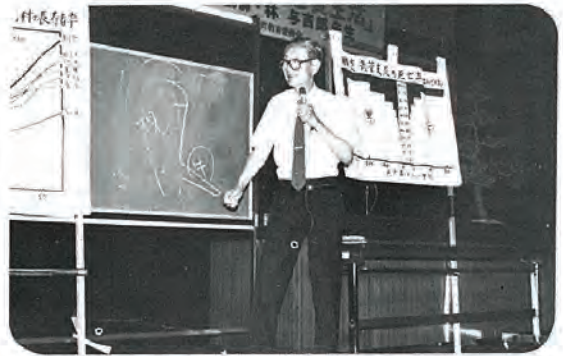


今後にも更に健康づくりの輪を広げていきたいと思っておりますので皆さん多数の参加をお待ちしております。

健康づくり「講演」 盛会に終る

佐々町国民健康保険では、健康づくりの町をめざし、福岡県朝倉町記念病院林与吉郎先生をお迎えして去る八月五日(火)文化会館において健康づくり「講演」を開催いたしました。

当日は、平日ではありましたが三百二十有余名の多数の参加者があり二時間にわたり終始和やかに有意義な講演でした。



大人も子供も みんなそろって大清掃

八月十七日(日)県下一斉行事の「クリーンながさき推進月間」に合わせ、美しい町づくり、住みよい環境づくりをモットーに町民大清掃が実施されました。

この日は、河川を中心に道路、公園等の清掃が各町内会、小、中学生等約三、〇〇〇人の参加により行われ、とてもきれいな町にすることができました。これからも美しい町づくり、住みよい環境づくりのため町民皆さんのご協力をお願いいたします。



昭和六十一年 剣道昇段試験合格者

昭和六十一年の剣道昇段試験が八月十七日江迎町民体育館で開催されました。

佐々町関係の昇段者は次のとおりとなっております。

◎二段の部

- 羽田富美次(西町)
- 吉富 一将(口石)
- 野田 秀樹(芳ノ浦)

◎初段の部

- 吉良 文一(西町)
- 大村 眞(芳ノ浦)
- 前川 尊寿(野寄)
- 牛島希代子(芳ノ浦)
- 紫加田朗子(東町)

台風シーズンです

八月、九月は台風のシーズン。台風情報に注意して防災準備は早めにいたしましょう。九州電力からはとくににつきのことを願います。

●テレビアンテナ、看板、煙突などは風で倒れないようにしっかりと取り付けましょう。

●樹木や雨どい、看板の支線などが電線にふれる恐れのあるところは、早急に対処しましょう。

このような箇所がありましたら最寄りの当社営業所へご連絡ください。

九州電力



9月9日『救急の日』

9月6日から9月12日は「救急医療週間」です

一救急車を正しく利用しましょう一

- 救急車を安易に利用すると重症患者の緊急な搬送に支障をきたすことがあります。
- 救急車を呼ぶときはおちついて住所、氏名、年令、性別、病状、現場の目標を『ハッキリ』と通報しましょう。
- 救急車を呼んだら現場近くの道路に出て救急車に合図しましょう。
- 救急車が着いたらあわてないで救急隊員にまかせましょう。

サラリーマンの奥さん 国民年金の届出はお済みですか

二十才以上六十才未満の奥さんで、ご主人が厚生年金や共済年金に加入している、そのご主人の収入により生計を維持されている人（健康保険、船員保険、共済組合の被扶養配偶者になっている人）は四月から全員が国民年金に加入することになり、将来、自分名義の老令基礎年金を受けられるようになります。

このような加入者を第三号被保険者といい、個別に保険料を納める必要はありません。第三号被保険者となるためには、役場の国民年金係へ届ける必要があります。

この届出を忘れずと、将来、年金が受けられなくなるおそれがありますので、まだ届出がお済みでない奥さんは、役場より「届書」をもらって、ご主人の勤務先で証明をうけて提出するか、または、ご主人の年金手帳、保険証、印鑑を持参して早めに届出をして下さい。



七月十九日(土)からの利用で始まった夏休み期間中の学童農園利用は、四十団体・約千九百十名の人でにぎわいました。(研修棟二十三団体・八百八十名、キャンプ場十七団体・千三十名)

今年初めての学童農園キャンプ。

子供会キャンプでにぎわう学童農園



親も子も、戸惑いながらも楽しい夏休みの一日を、自分の町でできることの喜びをかみしめながら、各々の子供会の特色あふれるレクリエーションに寝るのも忘れて楽しんでようです。

この夏休み利用に際し、六月一日の抽選会、二十八日(土)二十九日(日)の二泊二日による野外活動指導者研修会に参加したり、キャンプ当日にお世話をいただいた子供会リーダーの皆様の御陰で事故一つなく終えられたことに心から御礼を申し上げます。

楽しかった
キャンプファイヤー
おいしかった
カレーライス

キャンプ広場で燃え上がるファイヤー、研修棟でのキャンプンドルフファイヤー。涙を流し、やっとの思いでたけた飯合炊飯、みんなで作ったカレーライス、どれもこれも貴重な体験としていつまでも子供達の心に残ることでしよう。



交通安全こども自転車大会

佐々小学校長崎県大会で健闘

交通安全協会主催の「交通安全こども自転車教室」が七月十二日、佐々小体育館で地区予選を開き団体・個人(山田隆史君「六年生」)ともに佐々小学校チームが優勝しました。

また、同校チームは七月二十一日、県大会に出場し惜しくも入賞を逃しました。

この大会に備えて交通巡視



佐々小自転車チームのお友だち。

員さんらが実技の特別指導を行いました。

こどもたちは学科に強いものの、五つの実技に弱いものなど平均点が取れなかったようです。なんとかコースを回りますが、ふらふらの状態が多く「自転車の安全運転って、こんなにもむずかしいの」という声もありました。みなさん正しい自転車の乗り方していますか。自転車は自分の体にあつたものを選び、交通事故にあわないよう、交通ルールをよく守りましょう。

学科の次は実技なり、合図は大きな減点に結びつくるので正確さが要求される。



商業統計調査にご協力を

昭和61年10月1日は
飲食店調査の日です

調査に御協力をお願いいたします

飲食店を営んでいる皆様へ

通商産業省は昭和61年10月1日現在で第16回目の商業統計調査(一般飲食店)を実施します。

この調査は、我が国飲食店の構造及び販売活動の実態を明らかにする唯一の重要な調査です。

その調査結果は、国や都道府県、市区町村における飲食店の育成策や経営指針を作る際に広く役立っています。

通商産業省

調査の概要

調査の対象

全国の飲食店を営んでいるすべての商店です。

調査の期日

昭和61年10月1日現在で実施します。

調査事項

調査事項は次のとおりです。

- (1)商店名及び所在地
- (2)経営組織
- (3)商店の本支店別
- (4)商店の開設年
- (5)来客収容人員数
- (6)従業員数
- (7)年間商品販売額
- (8)業種

調査の方法

この調査は、都道府県知事から任命された商業統計調査員が飲食店を訪問し調査票を渡して必要な事項を記入していただき、取りまとめるという方法で行います。

調査の経路

調査の経路は次のとおりです。



秘密の厳守

提出された調査票は統計法によって厳重に秘密が守られます。例えば、徴税資料にしたり、飲食店の不利益になるようなことは絶対に使用しませんので、正確な申告をお願いいたします。また、商業統計調査員は身分証明書を携帯していますので、不審な場合は、いつでも提示を求めて下さい。

調査の対象になる飲食店は下記のとおりで

<業種分類表>

業 種 名	例 示
1. 一 般 食 堂	食堂、大衆食堂、お好み食堂
2. 日 本 料 理 店	てんぷら料理店、うなぎ料理店、川魚料理店、精進料理店、鳥料理店、釜めし屋、お茶漬屋、にぎりめし屋、沖縄料理店、とんかつ料理店、郷土料理店、かに料理店、牛丼店、ちゃんこ料理店
3. 西 洋 料 理 店	グリル、レストラン、フランス料理店、ロシア料理店、イタリア料理店、スパゲッティ料理店、ピザ料理店
4. 中 華 料 理 店、その 他 の 東 洋 料 理 店	中華料理店、上海料理店、北京料理店、台湾料理店、中華そば店、ぎょうざ(餃子)店、朝鮮料理店、印度料理店、カレー料理店
5. そ ば ・ う どん 店	そば屋、うどん店
6. す し 店	すし屋
7. 喫 茶 店	喫茶店、フルーツバーラー、音楽喫茶、スナック(喫茶を主とするもの)
8. そ の 他 の 一 般 飲 食 店	大福屋、今川焼屋、ところ天屋、水木屋、甘酒屋、汁粉屋、お好み焼屋、ハンバーガー店、フライドチキン店、ドライブリン(飲食店であつて主たる飲食料品が不明なもの)

(注) 料亭、バー、キャバレー、ナイトクラブ、酒場、ビヤホールは調査の対象から除きます。

問い合わせ先

通商産業大臣官房調査統計部商業統計課

〒100 東京都千代田区霞が関1-3-1
電話 03-501-1511 内線2384、2385

鉄道事故防止について

今年も、来る九月二日から九月三〇日までの一〇日間全国一斉に秋の全国交通安全運動が実施されますが、国鉄でも、踏切事故や幼少年による線路への置石等鉄道妨害の防止の絶滅を期して、この運動を進めて行くことになりました。

今年度の長崎鉄道公安室管内の鉄道妨害は、八月一〇日現在四四件発生し昨年度より増加の傾向にあり、その対策に苦慮しております。町民の皆様のご協力をお願いいたします。

◎ドライバーの皆様へ

- 一、踏切では必ず一時停止して左右の安全を確かめてから通ってください。
- 二、踏切の前方が混雑している時は、前方に空が出来るまで踏切の手前で待ってください。
- 三、万一踏切で故障、落輪等した時は、先ず列車を止める手配をしてください。

◎鉄道沿線の皆様へ

一、線路内の通行は危険ですので絶対にしないでください。

二、線路内や線路近くで子供さんを、遊ばせないでください。

三、架線には、二万ボルトの電流が流れており大変危険ですので、十分注意してください。

長崎鉄道公安室長



築肥線の踏切事故。

健康づくり「モデル町内会」に口石・市瀬町内会を指定

佐々町国民健康保険では、昭和六十一年度の保険施設事業の実施にあたり、住民自らの健康づくり運動について、住民意識の高揚を図るため、その実践活動の定着化を目的として、口石、市瀬町内会を「健康づくりモデル町内会」に指定しました。

佐々町健康づくり協力委員を設置

今後は、町が実施する健康づくり事業への積極的参加と町内会のふれあいの場を設け各種、スポーツ大会を実施し国民健康保険と健康に関する知識の普及に期待したいと思います。

住民福祉課では、住民の衛生及び保健知識の向上と疾病予防並びに地域住民の健康保持増進を図るため、各町内会七〇〇一〇〇世帯を目安に四十八名の協力員を町内会長の推せんをうけ設置しました。

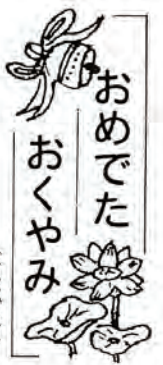
今後の活動は、協力員の資質の向上を図るとともに協力員として町の実施する健康づくり事業や各種の検診等、町内会の皆さんに協力の要請を御願いたしますので、御協力下さいますよう御願いたします。

なお協力委員会の役員は次のとおり決定いたしました。

- 会長 福田久子（水道町内会）
- 副会長 市瀬マサ子（市瀬町内会）
- 副会長 十時ツキエ（新町町内会）
- 各町内会の協力委員は次のとおりです。

佐々町健康づくり協力委員名簿

町内会名	協力委員名	町内会名	協力委員名	町内会名	協力委員名
古川	広川 瑤子	新町	十時ツキエ	市瀬	市瀬マサ子
志方	玉置アイ子	木場	井手リセ		浜野シゲ子
中央通	中倉喜代香	牟田原	北村 忍	松瀬	七種良子
里	嶋崎 弘子	浜迎	福田 早苗	北	高木ミツヨ
	菅 富美子	水道	福田 久子	江里	中元寺スミ子
里鉄道	坂本 一代	東町	福田 久子	大茂	佐藤美智子
里山	川下サヨ子	西町	朝隈 博子	神田	神田 節子
野寄	中村 邦子	芳ノ浦	内田さとみ		湯村 洋子
栗林	松川百合江	真申	岡本美智子	若佐	大瀬千代子
角山	宮本加千代	土手迎	永吉ユクヨ	沖田	橋本 豊子
口石	富永 綾子	四ツ井樋	田島ツユ子	さざん花	須藤 岸江
	前川アヤ子	藤田キミ子	藤田キミ子		川尻フミ子
	藤永マリ子	鴨川	児山道生		藤本セツ子
					西尾 正子



おめでた
おぐやみ

(敬称略)

お誕生おめでとう

父の名 母の名
 続柄 出生児 町内会
 大瀬 忠昭 裕子
 三男 拓矢 神田
 末永 忠利 しづ子
 長女 綾子 芳ノ浦
 吉野 裕 友子
 二男 彰 水道
 赤木 勇 節子 芳ノ浦
 長男 誠
 筒井 豊 和美 里
 二男 仁史
 井上 良一 恵子
 長女 智恵美 さざん花
 山下 孝介 夕見子
 二女 静香 志方
 山本 弘治 正子
 四女 晴美 木場
 川崎 聡 雪子
 三男 聖一郎 新町
 松本 俊治 春美
 三男 浩太郎 浜迎
 岩本 勝則 民子
 長男 拓栄 沖田
 立山 伸哉 まゆみ
 長男 智哉 沖田

松田 実 紀美代

長男 健志 若佐

ご冥福を祈ります

氏名 年齢 町内会
 坂本 江里 0才 里山
 阿曾 末治 68才 市瀬
 福田 清子 73才 土手迎
 川添 増雄 61才 神田
 川崎 フデ 80才 神田
 大村 眞一 55才 中央通
 池田 朋実 11才 神田

保護司に二名の再任受ける

法務大臣から左記の方々が
 保護司の発令を受けられまし
 たのでお知らせ致します。

《発令者》

久家ミチ 中央通(再任)
 (昭和61年5月25日付)
 宮村宇一郎 里(再任)
 (昭和61年7月25日付)

人権擁護委員

に内山氏再任

昭和61年7月15日付で法務
 大臣より左記の方が人権擁護
 委員の発令を受けられました。

《発令者》

内山武次 市瀬(再任)

新監査委員決まる

六月定例議会において、監
 査委員が選任されましたので
 ご紹介します。



知識経験者

宮村宇一郎氏(66才)
 略歴 元町課長、収
 入役、商工会
 事務局長、保
 護司



議会議員

田中 伴七氏(72才)
 略歴 元会社社長、
 元町監査委員
 (知識経験者)
 町議四期

援護業務巡回相談

県では、例年援護業務巡回
 相談を実施しておりますが、

今年もまた、左記の通り実施
 されますのでお知らせいたし
 ます。なお、不明の点につい
 ては、役場、福祉係に御連絡
 下さい。(電話 62-210

記

一、日時 昭和61年9月17日
 (水) 14時~17時
 二、場所 小佐々町公民館

見直そう

わが社の職場
この人に

労働省では、毎年九月を一
 心身障害者雇用促進運動月間
 と定め、心身障害者の雇用
 促進運動を実施しております。
 障害者の雇用については、
 事業主の皆様のご理解によ
 り年々雇用が進んで来ており
 ますが、まだ就職を希望する
 障害者が多数おられるのが現
 状です。適性と能力に応じた
 職業につき、その職業に生き
 がいを感じ充実した毎日を過
 ごせたら、どんなに素晴らし
 いことでしょう。地域の皆様、
 特に事業主の皆様のご理解
 とご協力により、一人でも多
 くの障害者の方が就職できま

「いじめ、体罰」の根を絶とう!!

あなたの町の人権擁護委員は次の方です。
 人権を無視されたり、いじめその他でお困りの方はお気軽
 にご相談下さい。人権擁護委員はあなたの味方です。

記

内山武次 (電話62-2540)

すよう、よろしくお願い申し
 上げます。
 また、職業安定所の紹介に
 より障害者を採用された場合
 は、事業主に対する助成制度
 がありますのでご利用下さい。
 江迎公共職業安定所
 電話66-3131

社会福祉協議会だより

でんわ ⑥22655

《寄付のお礼》

◎香典返しとして

▽故村松 静代殿

古川 村松 光子殿

▽故辻 初枝殿

角山 辻 博實殿

▽故松本 虎一殿

四ツ井樋 松本 達夫殿

以上の方々から、社会福祉事業に役立ててくださいと多額のご寄付をいただきました。皆さまからのこうした温かいご芳志誠にありがとうございます。紙面にて厚く御礼申し上げます。

(七月二十六日から八月十三日までの受付分です)

社会福祉法人

佐々町社会福祉協議会

会長(町長) 菊本春夫

心配ごと

相談所開設

◎毎週水曜日 午後一時から
 ◎場所 老人福祉センター
 ◎9月(3日・10日・17日・24日)

※相談は無料・秘密厳守です。



61老人と子どものゲートボール大会

優勝北Aチーム

おめでとう

八月八日、老人福祉センターゲートボールコートで老人クラブ会員と佐々、口石校区の小中学生の児童、生徒の混合チーム十八チームで午前八時三十分試合開始延々六時間にわたって熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。
 優勝 北 Aチーム

- 二位 市瀬Bチーム
- 三位 市瀬Cチーム
- 努力賞 西町Aチーム
- 敢とう賞 土手迎チーム
- ユーモア賞 中央Aチーム

この大会はふれあいのあるまちづくり県民運動の一環で老人自らがボランティアとなり子どもたちの健やかな健全育成を図るもので、手をとりルールを指導し、世代間の交流を深めることをねらいとしたものです。

社会福祉協議会では赤い羽根共同募金配分金をこのような皆さんのボランティア事業、健全育成事業にも使用しております。

なお大会開催に当りましては老人クラブ役員、会員の皆さま、また早朝より昼食お弁当作りに専念、婦人会の皆さま方にはボランティアとして、たいへんご協力をいただきまして有難うございました。

佐々町ふれあいのあるまちづくり実行委員会

婦人とボランティア活動

近年、母親の育児終了時期が早まり、主婦の社会参加は

重要な意味をもつようになり、社会参加の一形態としての主婦のボランティア活動はますます活発化しています。

主婦として、母親として、地域生活の主役である婦人の体験的発言と行動は、今後の地域社会のあるべき方向づけに大きな力をもっているといえましょう。

- 一、生命を守り、育てる活動
- 二、出産、育児、母子保健、地域保健活動。
- 三、栄養改善、生活改善、丈夫な子どもを生み育てる母親運動。
- 四、障害児者への活動。
- 五、婚前、新婚指導など。
- 六、消費生活を充実する活動
- 七、新生活運動。消費組合運動など。
- 八、老人の幸せを高める活動
- 九、ひとり暮らし老人への訪問介助。電話相談、給食・入浴サービス。趣味を通しての老人の生きがいを高める活動など。
- 十、児童の健全育成活動
- 十一、子ども会、育成会、母親クラブ、学童保育、幼児の短期預り。児童文庫。非行防止、交通事故防止、水難事故防止など。
- 十二、「ボランティア活動のすすめ」より

共同募金会より 遊具のプレゼント!!

昭和六十一年度共同募金特別配分により、次の町内会の子どもの遊び場へ遊具の設置をしました。

- 東町 二面滑り台 一台
- 角山 二連シーソー一台
- さぎさんか シーソー 一台



あけぼの荘だより

(九月)

- ◎もよおし
- △カラオケ会 毎月第一日曜日 十一時から
- △血圧測定 九月九日(火)
- ◎休館日のお知らせ 9月(1日・8日・14日・15日・22日・23日・29日)

資料館
図書室 だより



61・8・12付、朝日新聞に、「読書離れ進む子供たち」と題した記事が載っていました。

この一・二年、テレビゲームや漫画、テレビなど、刺激が強くと、テンポの速い流れに押されて、『じっくり読む時間的なゆとりがなくなっている

前号まで二十三回にわたって古川の歴史を書いたが、北の吉富酒屋から南の郵便局までの間は、以前はかなり長い距離のような気がしたものであった。

随筆 郷土誌 (139)

宮原 九 一郎

古川の歴史(その二四)

今佐々橋の袂に立って眺めると、両手を伸ばせば届きそうな短い区間である。多分その当時は、町の両側に目を引き、耳を誘い、心を捕えるものが続いていた為に、長い町筋の気がしていたのである。

現在のひかりコーポの南側は、山へ行く赤線の道を挟んで中村うどん屋であるが、この宅地はずっと以前は畑であ

『というのです。現代は、児童文学の数も多くて、どれにしようかな、と、選び出すのに迷うほど、豊かな状況にあります。これらラムダにすこす手はありません。少くとも、読むことや書くことが嫌いじゃないという土壌だけは作っておきたいと思

うのです。そうすれば、一生のうちに一冊か二冊、必ずや、心に残る本と出会うのですから。十月四日(土) (午後二時)三

り、後日中村文治氏が降炭馬車用の馬小屋を建てていた。中村亀一氏は南高西有家町の出身であり、大正十四年、口石の正福寺の門前近くでラムネ製造を始め、手堅く繰業を続けていたが、昭和十八年

時半)親と子の集いを、公民館図書室で開きます。当図書室からは、本の読み聞かせとストーリーテリングをし、県立図書館からは、パ

ネルシアターなどの出しものがあります。お子さんを連れて、是非、お出かけください。

《寄贈のお礼》

清原文雄さん(口石)から、新刊本三冊いただきました。ありがとうございます。

九月三十日(火)の午後三時前に津正三氏宅は、油屋畑津家の住宅であった。平屋であったがかなり広かったらしく、重之助、宗一の兄弟が両方の子供と共に一つ屋根の下に住んでいた。核家族化の現代ではとても考えられないことである。以前に書いたように兄の重之助氏が郵便局の前に家を建て、引越したのは大正十三年頃であるが、その後宗一氏の夫人は豆腐つくりを始めた。畑津豆腐屋の南隣は村田豊屋であった。

豆腐も豊も、日本人の生活には欠かせないものであり、それを供給する商売が古川筋には揃っていた訳である。

後、県図書の入替えのため、(ス)が着きます。合計四百冊県立図書館より、ブックモーほど借りる予定です。県図書ビル(本をたくさん積んだバもご利用ください。

自主グループ・教室講座案内(九月)

公民館の教室・講座より発足した自主運営のグループを

ご案内します。

一、料理クラブ 三日・二十四日 九時半〜十二時

一、洋裁クラブ 九時半〜十二時 一、明生大学園芸クラブ 十一日 十時〜十二時

一、和裁クラブ 毎週火曜 十時〜十五時 一、明生大学健康クラブ 十一日 十時〜十二時

一、毎週木曜 十時〜十五時 一、明生大学書道クラブ 三日・十七日 十時〜十二時

一、アートフラワー 毎週金曜九時半〜十二時

一、ペーパークラフト

※会場は、佐々町公民館

さぎ川柳会

七月例会より 題「古い日記」

- 喧嘩もし隣は古いおつき合い 出端 九一
- 古傷に触らぬ友の思いやり 日野 迷亭
- 埋めてある過去が息づく考古学 松川 房江
- 物忘れ親を笑った歳迎え 南 茂
- 家中のアイデア古い知恵も借り 松本 静枝
- 同年を見ればなるほど古い顔 宮原 九一郎
- バカヤローの字が泣いている子の日記 大徳屋末太郎
- 闘病の日記ナースへ淡い恋 福地 よしみ
- やりくりの苦勞を日記だけが知り 永吉 いくよ
- 波立てぬ不倫日記の片すみに 井上 順一
- 押し花の香り移して古日記 福島 京子
- 思い出の日記にたどる虹の道 赤木 まち子
- 金婚の歴史を偲ぶ日記帳 松永 茂



非行防止対策協議会開く

七月十五日、佐々町公民館で教育委員会、少年健全育成会、小中学校PTA共催により、江迎警察署、商工会、大型店、民生児童委員、少年補導員、小中学校、各PTA、健全育成会、教育委員ら六〇名の出席で「少年非行防止対策協議会」を開きました。

『親の姿勢が不足している』

これは青少年の非行のない町「さぎ」を生み出すために少年の非行を省み、これからの非行防止について具体的な対策を話し合われましたが、その主な内容は次のような事柄です。

①これまで潜在化していたのが顕在化した。
 ②友達同志で近接する佐世保市の繁華街へ出向く機会が増えた。
 ③セルフサービスの店が佐々町などに増え、万引を誘発する機会が多くなった。
 などが主因と分析している。佐々町の二十歳未満の少年

- 千人当たりの指数は三十六・七(前年実数六人に対し五十四人、中でも小学生を含む十四歳未満の少年らによる集団万引が急増の原因とみられている)で、決定的な原因についてははっきりせず、都市化の波が子供たちを刺激していることは確かなどのみかたを述べている。
 - 二、防止活動の具体策
 - ①少年健全育成PR塔の設置
 - ②商店側の積極的協力
 - ③非行防止大キャンペーン
 - ④「あいさつ運動」
 - ⑤親子のコミュニケーションを図る。
 - ⑥非行防止についての懇談会
 - ⑦少年補導パトロールの強化など、
- 今回は、非行防止を中心に話し合ったが、子どもたちが人のものを平気で盗むという行為は、何としてもやめさせなければならぬ。理屈ぬきで家庭や学校でしっかり指導をしなければならぬ。学校としても、家庭としても、しっかりととりくまなければならない。

心をつなぐみんなの広場

公民館 だより  62-2128

つどいと教室

- 3日・20日 ふるさと文化講座
- 6日・20日 成人大学講座
- 8日 読書講座
- 9日・23日 ズームイン講座
- 9日・22日 手芸教室
- 11日 明生大学
- 12日 婦人ボランティア活動
- 16日 婦人学級ならびに家庭教育学級合同学習会 (世代間交流)

芳ノ浦街道を練り歩く

芳ノ浦町内会公民館(館長 岡本進氏)は、モデル町内会公民館の指定を機会に「あいさつ運動」を展開されています。

「あいさつ運動」を展開

七月は、少年健全育成会と共同して人々が往来する町内数カ所に大小の啓発看板を取り付け、又八月十日は、芳ノ浦街道を練り歩くパレードを実施しました。





十五夜

役場のでんわは
⑥2101です

9月のお知らせ



秋の全国交通安全運動
(9月21日～30日)

胃ガン検診

とき 9月1日～9月6日まで
9月16日～9月20日まで
対象者 40歳以上の住民
実施時間 8時30分～11時

妊婦相談

とき 9月11日(木曜日)
受付時間 13時30分～14時

乳児相談

- とき 9月11日(木曜日)
対象者 生後9ヶ月～12ヶ月児
 - とき 9月18日(木曜日)
対象者 生後5ヶ月～8ヶ月児
 - とき 9月25日(木曜日)
対象者 生後1ヶ月～4ヶ月児
- 受付時間 9時30分～10時

1才6ヶ月検診

とき 9月18日(木曜日)
受付時間 13時30分～14時

※実施場所

佐々町健康センター

社会保険相談

とき 11日(木) 10時～14時
ところ 健康センター
※年金、社会保険について個人相談を行いますので、お気軽にご利用下さい。
尚、次回は10月9日(木)です。

税務課だより

9月は国民健康保険税第4期の納期限となっております。お納め忘れのないようお知らせします。

休日在宅当番医				
7	日	松瀬医院	吉井町	0956-643225
14	日	松浦病院	世知原町	0956-762201
15	祭	毛利医院	世知原町	0956-762006
21	日	穎川医院	佐々町	0956-632777
23	祭	佐々病院	佐々町	0956-622184
28	日	力竹医院	佐々町	0956-632029

“全国労働衛生週間”

第三十七回全国労働衛生週間が、十月一日から七日まで実施されます。職場では、粉じんやガス、蒸気、等の人体に有害な物質が原材料等として使われているところがあります。この機会に職場では、一、職場の中でどのような有害物が使われているか。二、使われている有害物の使用方法や、管理方法は万全か。三、健康診断は、確実に実施しているか。四、健康異常者に、適切な事後措置を実施しているか。等を総点検して下さい。

家庭では、一、健康診断は毎年受けているか。二、健康診断の結果異常がでたことについて、適切な健康管理をしているか。三、会社では、どんな有害物が使われているか。四、有害物の取扱方法等を知っているか。等家族みんなで話し合ってください。

江迎監督署では、九月十七日(水)午後一時三十分から、鹿町町、「やよい会館」で週間中の事業所での実施事項等について説明会を開催します。